

新狭山二丁目自治会

約1,350世帯で組織されている当自治会は、環境衛生委員会・商店会・子ども会育成会と協力して、青少年の健全育成をテーマに夏祭りや地区内一斉のクリーン作戦、ボウリング大会など、さまざまな行事を行っています。

また、市内で最初に電線を地中化した地区内の商店会では、毎年すかいロード祭りを行い、今年で10周年を迎えました。また、若い経営者の発想で始まった「空き缶を利用したカンテラ」は、近隣の小学校や幼稚園の協力で、1千個にもなりました。この手作りカンテラは11月いっぱい、道行く人たちに幻想的な光景を与えてくれました。私たちは、商店会の活性化と地域の発展を願っています。



「6年生を送る会」は、児童の前途をまचぐるみで祝します

わかるかな？ 今月の写真クイズ

写真は、今月の広報さやまに掲載してある写真の一部を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？



解答をお寄せいただいた正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課宛お送りください。  
締切り12月31日(当日消印有効)

11月10日号の答え

12ページの彩の国まごころ国体・秋季大会ボランティアの方が、選手や来場者に手渡しているバナナの写真でした。



表紙の写真

11月13日(土)、柏原公民館主催のお米づくり体験教室が行われました。参加した40名の小学生たちは、農家の方の手ほどきを受け、干した稲を一束ずつ機械に通して脱穀を体験しました。1年を通じ田植えや稲刈りなどの実習を行った子ども達は、稲作の大変さとともに収穫の喜びを感じていたようでした。

池原 昭治

さやまの会本

第115話



冬至のお話

十二月二十一日は、「冬至」という行事があります。冬至は、二十四節気の一つで、北半球の日本では一年のうちで昼がいちばん短く、夜がいちばん長いのだといわれています。この日は、寒さに向かって体力をつけ、健康を維持するためにカボチャやコンニャクを食べる風習があるそうです。また、「冬至の」との字がつく

豆腐、ふきのとう、とうがらしなども食べたそうです。そして、お風呂はゆず湯にして入るそうです。

市内では、この行事も地区によって少しずつ異なっています。奥富あたりでは、コンニャクは味噌おでんにして食べ、カボチャは、冬至とうなす」と言ってから食べました。また、北入曾では、カボチャとコンニャクは煮て食べ、ユズは縁の下に入れ、これは火難

除けになるといわれていました。ゆず湯にも入りました。そして掘兼では、冬至に邪気払いのため、コンニャクを煮たり、おでんにして食べ、カボチャは中風や風邪の予防になると言われて食べました。昔の人たちの知恵を大切に伝承して、風邪などをひかずに健康な体でよいお正月を迎えたいものです。



広報さやま Vol.593 発行日・平成16年12月10日 発行・狭山市 編集・狭山市総合政策部広報課  
〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5 04-2953-1111 04-2954-6262  
公式ホームページ http://www.city.sayama.saitama.jp/ モバイルサイト「モバイル」http://www.city.sayama.saitama.jp/mobile/



狭山市公式サイトのQRコード